

# RS ウィルス感染症とは？



## 【感染経路】

「飛沫感染」・・・くしゃみやせきによって、ウイルスを含んだしぶきが飛び散り、それが眼に入ったり吸い込んだりして感染します。

「接触感染」・・・ウイルスが付着したドアノブ、手すり、スイッチ、机、イス、おもちゃ、コップなどに触れた手や指で口や鼻、眼を触ったりなめたりすることにより間接的に感染します。

## 【症状】・・・「発熱」「鼻水・鼻づまり」「せき」

RS ウィルスとは、急性呼吸器感染症であるRS ウィルス感染症の原因として知られるウイルスです。乳幼児に多い急性の呼吸器感染症で、保育所、幼稚園などで問題となりますが、高齢者の長期療養施設でも集団発生することがあります。

RS ウィルスは、ヒトが生涯にわたって何度も感染を繰り返すウイルスです。新生児にも感染し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が初感染します。

毎年、季節性インフルエンザに先行して夏ごろから流行が始まります。秋に入ると患者数が急増し、年末をピークに春ごろまで続きます。感染症に関する法律で、「5類感染症」に指定されています。

## 【予防と対策】

### 「基本は手洗い」

もっとも重要な対策は、厳重な手洗いと手指の消毒です。石けんと流水でしっかり洗ってください。手指の消毒にはアルコール手指消毒薬を使います。

### 「せきエチケット」

せきが出ている年長児や成人はできる限り、RS ウィルス感染症の流行時期はもちろんのこと、流行時期でなくてもマスクを着用しましょう。また新生児、乳児への接触を避けることが感染予防につながります。

### 「おもちゃや身の回りの消毒」

子どもたちが日常的に触れるおもちゃはできるだけ個人専用とします。消毒には、アルコール系消毒薬や次亜塩素酸ナトリウムを使うか、熱による消毒を行います。手すりのようなよく手が触れる場所は、アルコール系消毒薬や次亜塩素酸ナトリウムでこまめにふき掃除をしてください。